

豊栄病院 地域医療連携室だより 平成30年7月号

夏休みの予定は立てましたか？
今月も、連携室便りをお届けします。



臨床検討会のお知らせ

日時:平成30年7月10日(火) 午後6時

場所:豊栄病院 健診棟2階 多目的ホール

講演1:当院における、糖尿病の多剤併用療法の実態

菊地博先生

講演2:当院の「看取りに対する指針」の解説

柄澤良先生

共催:豊栄病院、アステラス製薬株式会社

●7月の臨床検討会は、糖尿病薬の多剤併用療法について、当院の実態を菊地先生が話します。またクイズ形式かな？今米国では、米国内科学会の新しい血糖コントロールのガイドラインがでて、米国糖尿病学会のものとはだいぶ違うので、混乱しているようです。米国内科学会のガイドラインの基になった論文にはDPP4阻害薬やSGLT2阻害薬などの新しい薬剤の論文が入っていないそうです。低血糖のリスクが少ないDPP4阻害薬やSGLT2阻害薬が当院でどのように使われているのか知りたい！院外薬局の先生方も参加を検討ください。後半は、当院の看取りの指針の解説です。今年3月に改訂された「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」(厚生労働省)に基づいたもので、老人施設などの方も参考になるとと思います(柄澤)。

●今年もCKD公開市民講座「天地腎」をやります。

日時:平成30年8月19日(日)

場所:新発田市生涯学習センター講堂

特別講演は、元新潟大学学長の荒川正昭先生です。菊地先生と私も出ます。是非聞きに来てください(柄澤)。

●One of the Suggestive Cases (OSC:おすし)

山本先生が書きます。肺塞栓(エコ/ミー症候群)

患者さんは78歳の女性。糖尿病で通院中の方でした。一週間前に感冒で抗生剤治療を受け、受診当日、早朝から背部痛、右前胸部痛があり、来院されました。血圧、酸素飽和度、肺雑音などの異常所見はなく、心筋梗塞、大動脈解離、肺塞栓、胸膜炎が鑑別診断に上がりました。心電図に異常なく、血液検査では軽度の炎症反応がみられ、凝固系の検査で異常が見られました。胸部レントゲンではごくわずかですが、右肺動脈の怒張が見られ、この写真に至りました。この位美しい画像を提供して頂ければ、診断は可能です。素晴らしい。感謝いたします。エコ/ミー症候群を含む肺塞栓は、肺動脈に血液の塊が詰まる病気です。肥満の方、ネフローゼ症候群の方に多くみられ、突然死の原因になりえます。この方は程度も軽く、早期で診断されましたが、突然死の方は解剖で初めてわかるケースも多々あります。基礎となる肥満、腎疾患について治療に努め、脱水に気を付けましょう。暑い夏。です(山本尚)。



編集:夏休みは長良川に行きたい。センター長柄澤